

Music for Peace



すみだ 平和祈念 音楽祭 2020

マルタ・アルゲリッチ
藤倉大
そしてヒロシマ



©Seiji Okumura



©KONTA, Inc.

第1部

「Music for Peace」

マルタ・アルゲリッチ×藤倉大による

トーク・セッション(「明子のピアノ」をめぐる) [通訳付]

Talk Session: Martha Argerich, Dai Fujikura

聞き手: 石合 力(朝日新聞 欧州総局長)

MC: Tsutomu Ishiai, London Bureau Chief Correspondent European Editor of Asahi Newspaper

藤倉大: 新作ピアノ協奏曲「Akiko's Piano」の カデンツァ「Akiko's Diary」

Dai Fujikura: Cadenza of New Piano Concerto "Akiko's Piano"

ピアノ: マルタ・アルゲリッチ
Martha Argerich, *piano*

第2部

ベートーヴェン: 三重協奏曲 ハ長調 op. 56

Beethoven: Concerto for Piano, Violin, Cello and Orchestra in C major op. 56

ピアノ: マルタ・アルゲリッチ (広響平和音楽大使)

Martha Argerich, *piano* (Peace and Music Ambassador of Hiroshima Symphony Orchestra)

ヴァイオリン: 佐久間 聡一 (広響第1コンサートマスター)

Soichi Sakuma, *violin* (First Concertmaster of Hiroshima Symphony Orchestra)

チェロ: マーティン・スタンツェライト (広響首席チェリスト)

Martin Stanzeligh, *cello* (Principal Celist of Hiroshima Symphony Orchestra)

指揮: クリスティアン・アルミンク (広響首席客演指揮者)

Christian Arming, *Conductor* (Principal Guest Conductor of Hiroshima Symphony Orchestra)

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra

コンサートマスター: アントン・バラホフスキー (バイエルン放送交響楽団)

Anton Barakhovsky, *concertmaster* (Bavarian Radio Symphony Orchestra)

2020年 **3/13** (金) 19:00 すみだトリフォニーホール

Friday, March 13, 2020 at 7 p.m. Sumida Triphony Hall, Tokyo

S¥13,000 A¥11,000 B¥9,000

主催: KAJIMOTO

共催: 公益財団法人 墨田区文化振興財団(すみだトリフォニーホール指定管理者)

後援: 朝日新聞社 協力: 公益社団法人 広島交響楽協会



親愛なる皆様

私はMusic Against Crime(ミュージック・アゲインスト・クライム)というコンセプトのもと日本国内で演奏を続けてまいりました。音楽には人を愛する事を助長し、人を殺める気持ちを萎えさせる力が宿っている、という信念からです。

第2次世界大戦で私たちが目撃したもっとも恐ろしい犯罪は広島と長崎への原爆投下と、主にポーランドを襲ったホロコースト(ユダヤ人の大量殺戮)だと思います。争いごとの解決のために核兵器を使用する犯罪と人種差別とエスノセントリズム(自民族中心主義)を利用した犯罪は二度と起こってはなりません。

私はこのような犯罪を消滅させるために、広島が今まで以上に重要な役割を果たすものと信じています。

愛をこめて

マルタ・アルゲリッチ

当公演「マルタ・アルゲリッチ、藤倉大、そしてヒロシマ」のこと

コンサート前半はアルゲリッチのトークと独奏が入る。アルゲリッチは広島交響楽団平和音楽大使として、かつて自分が共演した世界のオーケストラの団員を招いて広響と共演してもらうMusic for Peaceを提唱してきた。2020年8月に広島では20人の客演奏者が広響に参加、Hiroshima International Peace Orchestra として、ベートーヴェン「第9」に加えて藤倉大のピアノ協奏曲第4番「明子のピアノ」がアルゲリッチの独奏で世界初演される。曲中のカデンツァには1945年8月7日に広島で被爆死した19歳の河本明子が愛奏していたピアノ(被爆後60年の2005年に修復され温かい音色で蘇ったアメリカのボールドウィン製アップライトピアノ)が使用される。

3月13日の本公演ではAkiko's Diary というタイトルのカデンツァをアルゲリッチがモダンピアノで演奏(世界初演)する。アルゲリッチは2015年8月に

広島で明子のピアノを弾いている。同じく藤倉も2019年2月に広島を訪れ、明子のピアノに触れながら作曲を開始した。藤倉/アルゲリッチによるAkiko's Diaryは19歳で生涯を終えた一人の少女のストーリーを思い起こす。「大事なものは悲劇の記憶を鮮明にすること、そして音楽はそのための力強いインスピレーション」とアルゲリッチは語っている。2020年は東京大空襲(3月10日)と広島と長崎の原爆投下(8月6、9日)から75周年を迎えるが、ピアノをめぐる一人の少女のストーリーから戦争がもたらす悲劇を記憶したい。石合力はアルゲリッチと藤倉を頻繁に取材した経験から二人の会話を巧みに繋いでくれる。

後半はアルゲリッチお気に入りのアルミンクの指揮に広響のソリストが加わったベートーヴェンの「三重協奏曲」。アルゲリッチが弾き馴れたトリフォニーホールに「Music for Peace」が響く。

佐藤 正治(KAJIMOTO プロジェクト・アドバイザー)

マルタ・アルゲリッチ(ピアノ) Martha Argerich, Piano



ブエノスアイレス出身。1965年にショパン国際コンクールで優勝し、以来、世界最高のピアニストの一人として、現代に至るまで指折りの見事な芸術活動を行っている。超一流のオーケストラ、指揮者、音楽祭などから頻繁に招かれ、室内楽にも熱心で、「皆と生み出すハーモニーは、私に強く、そして平和な気持ちを与えてくれる」と彼女は言う。2015年に広島響「平和のタベ」(Music for Piece)に出演。受賞や叙勲も多い。

藤倉 大(作曲家) Dai Fujikura, Composer

1977年大阪生まれ。15歳で渡英してG.ベンジャミンらに師事し、今や世界的な作曲家として、ザルツブルクやルツェルン、BBCプロムスなどの国際音楽祭、シカゴ響、バンベルク響などのオーケストラから国際的な委嘱も多数。革新的な活動を行っている。2015年にはオペラ「ソラリス」がシャンゼリゼ劇場で初演され、昨年は東京でも上演された。

クリスティアン・アルミンク(指揮) Christian Arming, Conductor

ウィーン生まれ。ハーガーや小澤征爾のものとて研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ルツェルン歌劇場や新日本フィルの音楽監督を経て、現在はベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督と広島響の首席客演指揮者。自然な音楽性と意欲的な活動で世界の多くのオーケストラに招かれている。

佐久間 聡一(ヴァイオリン) Soichi Sakuma, Violin

桐朋学園大在学中から新日本フィルの契約団員を務め、大阪フィルの首席奏者を経て、ドイツへ留学。ドイツ・カンマーフィルなどに客演したのち、2014年に広島響の第1コンサートマスターに就任した。弦楽四重奏やピアノ・トリオなどの室内楽公演にも出演。第23回霧島国際音楽祭特別奨励賞および優秀演奏賞を受賞。

マーティン・スタンツェライト(チェロ) Martin Stanzel, Cello

ドイツ出身。H.シフやシュタルケルに師事し、デンマーク王立歌劇場に入団。コペンハーゲン・フィルの首席チェロ奏者を務めたのち、1998年に広島響の首席チェロ奏者に就任。チェロのロックバンド「カンターナ」の活動も行っている。2011年に地域の文化活動への功績から県民文化奨励賞受賞。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1970年に名称を「広島交響楽団」とし、72年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表する「Music for Piece」を掲げるプロオーケストラとして活躍の場を拡げている。2017年4月から音楽総監督に下野竜也、首席客演指揮者にアルミンクが就任。

石合力(朝日新聞 欧州総局長) Tsutomu Ishiai, London Bureau Chief Correspondent European Editor of Asahi Newspaper



1988年入社。ワシントン、カイロの特派員を2度ずつ務め、中東和平、イラク戦争、アラブの春、シリア内線などを現地取材。国際報道部長を経て2016年から現職。クラシック音楽にも造詣が深く、アルゲリッチのほか、パレンボイム、ラトル、クルレンツィスらを取材。著書に「戦場記者」(朝日新聞出版)。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。
0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 153-509)
e+(イープラス) http://eplus.jp/
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212 www.triphony.com

twitter @kajimoto_News

facebook
YouTube YouTube

“kajimotomusic” で検索!

@kajimotomusic

カジモト・イープラス



一般発売:
6/30(日) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 6/20(木) 12:00~6/23(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 http://www.kajimotomusic.com/